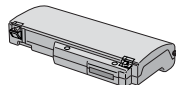
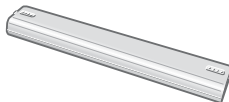
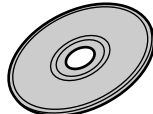
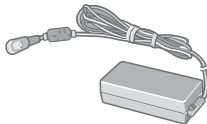
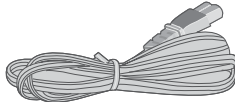
Panasonic®

ご使用の前に

パーソナルコンピューター

品番 CF-W4／Y4シリーズ

● 本書では、モデルによって異なる内容について説明しています。『取扱説明書』および本書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

もくじ

付属品／別売り商品

付属品を確認する

下記のものがすべてそろっているか確認してください。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、ご相談窓口にお確かめください。

バッテリーパック .... 1 個		プロダクトリカバリー DVD-ROM .. 1 枚
<CF-W4シリーズ> 品番：CF-VZSU40	<CF-Y4シリーズ> 品番：CF-VZSU41	

AC アダプター .... 1 個	電源コード .... 1 本	印刷物など
品番：CF-AA1625A		• 取扱説明書 • 困ったときのQ&A • Windowsファーストステップガイド • 保証書（保証書は梱包材に貼り付けられています。） • 3 年間無償保証のご案内 • ご使用の前に（本書）

• 本機には『取扱説明書』に記載の「無線LAN接続ガイド」は付属しておりません。

別売り商品

別売り商品の名称と品番は最新のカタログなどでご確認ください。
仕様改善のため、予告なく変更することがあります。

品　名	ご注文時の品番
ACアダプター（電源コード付き）	CF-AA1625AJS （コンピューター本体の付属品と同等品です。）
バッテリーパック	＜CF-W4シリーズ＞ CF-VZSU40U ＜CF-Y4シリーズ＞ CF-VZSU41U （コンピューター本体の付属品と同等品です。）
RAMモジュール	CF-BAV0256U（256 Mバイト*1）／CF-BAV0512U（512 Mバイト*1）
外部FDD（USB接続外付け3.5型3モード対応（1.44 Mバイト*2/1.2 Mバイト*2/720 Kバイト*3））*4	CF-VFDU03JS
DVD MULTIドライブ *5	LF-P767C / LF-P867C
パソコン用スピーカー	RP-SPC300-S

*1 1 Mバイト =1,048,576 バイト。
*2 1 Mバイト =1,024,000 バイト。OS または一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値で M バイト表示される場合があります。
*3 1 Kバイト =1,024 バイト。
*4 1.2 Mバイトと720 Kバイトの読み書きは可能ですがフォーマットはできません。
*5 コンピューター本体にはCD/DVDドライブが内蔵されています。
「再インストール」、「ハードディスクデータ消去ユーティリティ」および「ハードディスクバックアップユーティリティ」は、コンピューター本体に内蔵のCD/DVDドライブ以外では行えません。

ズームビューアー／NumLockお知らせ

「ズームビューアー」を使うにはあらかじめセットアップが必要です

ズームビューアーは画面の見たい部分を拡大表示することができます。ズームビューアーをはじめて使うときは、以下の手順で「ズームビューアー」をセットアップしてください。
①[スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックする。
②[c:\util\loupe\setup.exe]と入力して[OK]をクリックする。
　以降、画面の指示に従ってセットアップしてください。

「ズームビューアー」の使い方については、画面で見る『操作マニュアル』の「画面の一部を拡大表示する」をご覧ください。

「NumLock お知らせ」を使うにはあらかじめセットアップが必要です

テンキーモードになっているとき、「NumLock お知らせ」画面が表示されるようにしたいときは、以下の手順で「NumLock お知らせ」をセットアップしてください。
①[スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックする。
②[c:\util\numlkntf\setup.exe]と入力して[OK]をクリックする。
　以降、画面の指示に従ってセットアップしてください。

「NumLockお知らせ」の使い方については、画面で見る『操作マニュアル』の「テンキーモードで使う」をご覧ください。

再インストールする

再インストールについて、詳しくは『取扱説明書』「再インストールする」をご覧ください。
ここでは、ハードディスクバックアップ機能（➔ 5ページ）を有効にしている場合の確認事項や操作について説明しています。

再インストールの前に

- 再インストールを実行すると、バックアップ領域は削除され、ハードディスクバックアップ機能が無効になり、バックアップしたデータは消去されます。（ただし、再インストールメニュー（➔ 『取扱説明書』「再インストールする」手順*3*の③）で[3.最初のパーティションにWindowsを再インストールする]を選んだ場合を除く。）

再インストールする

- 再インストールの実行中に、ハードディスクバックアップ機能が無効になり、バックアップデータは消去されますというメッセージが表示された場合、【Y】を押してください。
  続いて再起動を促すメッセージが表示された場合、【R】を押して再起動してください。

ハードディスクバックアップ機能

ハードディスクバックアップ機能とは、ハードディスク上にバックアップ領域（保護領域）を作成して、ハードディスクの内容のバックアップ（保存）や、バックアップした内容のリストア（復元）を行う機能です。他のメディアや周辺機器を使わずに、本機のみでハードディスクの内容をバックアップ／リストアすることができます。
定期的にバックアップを行っておけば、操作ミスでデータを消してしまった場合などに、ハードディスクの内容を最後にバックアップを行ったときの状態に戻すことができます。
お買い上げ時、ハードディスクバックアップ機能は無効になっています。バックアップ領域を作成するとハードディスクバックアップ機能は有効になり、データをバックアップできるようになります。ただし、一度バックアップ機能を有効にした後、無効にするには、再インストールが必要です。

ハードディスクバックアップ機能は､データのバックアップ時やリストア時にハードディスクに問題があると､正常にバックアップ／リストアが行われません｡また､予期せぬ誤動作／誤操作など、データのリストア中にエラーが発生した場合、ハードディスク内のお客様のデータ（リストア前のデータ）は失われますのでご注意ください。

本バックアップ機能の使用により生じたお客様の損害（データの消失を含む）については補償いたしかねます。

ハードディスクバックアップ機能を使用する前に

■ 準備する

- プロダクトリカバリーDVD-ROMを準備してください。
- 周辺機器およびSDメモリーカードは、すべて取り外してください。特に、USBフロッピーディスクドライブやUSB接続の外付けCD/DVDドライブを接続したままでは、バックアップ領域が正常に作成できない場合がありますので、必ず取り外してください。
- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- ハードディスクが故障した場合には、データなどが読み出せなくなりますので、あらかじめ、ハードディスク以外の場所（他のメディアや外付けのハードディスクなど）にも、データをバックアップしておいてください。
- 次の手順でディスクのエラーチェックを行ってください。
  ①外部ディスプレイを含むすべての周辺機器を取り外す。
  ②Cドライブのプロパティを表示する。
  [スタート]-[マイコンピュータ]をクリックし､[ローカルディスク（C:)]を右クリックして､[プロパティ]をクリックする。
  ③[ツール]-[チェックする]をクリックする。
  ④[チェックディスクのオプション]で、どの項目にもチェックマークを付けずに[開始]をクリックする。
  ディスクにエラーがあることを示すメッセージが表示された場合、再度[チェックディスクのオプション]を表示し、「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」と「不良セクタをスキャンし、回復する」をクリックしてチェックマークを付け、[開始]をクリックして、ディスクのエラーチェックを行ってください。

■ 次の点に注意する

- パーティションを分割する場合は、バックアップ領域作成時に選択してください。（➔ 6ページ手順⑦）
- ハードディスクを複数のパーティションに分割していると、バックアップ領域を作成することができません。工場出荷時の状態（1つのパーティション）に戻してから、バックアップ領域を作成してください。
- バックアップ領域作成後にパーティション構成の変更（作成やサイズ変更など）を行うと、バックアップすることができなくなります。変更する場合は、工場出荷時の状態に戻してから、再度バックアップ領域を作成してください。
- ハードディスクバックアップ機能は､内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには、本機能を使用してバックアップ／リストアすることはできません。
- ハードディスクが損傷していると、バックアップ／リストアすることができません。
- NTFSファイルシステムの圧縮機能を使用しないでください。バックアップ領域の容量が足りなくなる場合があります。
- ハードディスクバックアップ機能はダイナミックディスクには対応しておりません｡ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。

お知らせ

- バックアップ領域について
  - ハードディスク全体の半分以上の空き容量が必要です。空き容量が足りないと、バックアップ領域を作成することができません。
  - バックアップ領域が作成されると、使用できるハードディスクの容量は半分以下になります。
  - バックアップ領域は、Windows上からはアクセスすることができません。このため、バックアップしたデータを、CD-Rなど外部のディスクにコピーすることはできません。
  - ハードディスクバックアップ機能では、バックアップ領域のデータを上書きします。バックアップした後に作成／編集したデータを、さらにバックアップすると、前回バックアップ領域に保存したデータは失われます。

ハードディスクバックアップ機能

バックアップ領域を作成する

お願い

- 手順⑩の「バックアップが終了しました。」というメッセージが表示されるまで、電源を切ったり、【Ctrl】+【Alt】 +【Del】を押したりしないでください。Windowsが起動しなくなったり、データが消失してバックアップ領域が作成できなくなったりするおそれがあります。

① コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に【F2】を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力し、【Enter】を押してください。ユーザーパスワードでは「起動」メニューを変更できません。

②「起動」メニューで［USB CDD］を選び、【F6】を押して［USB CDD］が1番目になるように設定する。

③ プロダクトリカバリーDVD-ROMをCD/DVDドライブにセットする。
- ディスクカバーが開かない場合：
「メイン」メニューの[CD/DVD ドライブ電源］が[オフ］に設定されていたためです。下記の手順を行ってください。
「メイン」メニューの[CD/DVD ドライブ電源］を[オン]にする。
↓
【F10】を押し、確認のメッセージが表示されたら[はい］を選び【Enter】を押す。（コンピューターが再起動します。）
「Panasonic」起動画面が表示されている間に【F2】を押し、セットアップユーティリティを起動する。
プロダクトリカバリーDVD-ROM をセットして、手順④から行う。

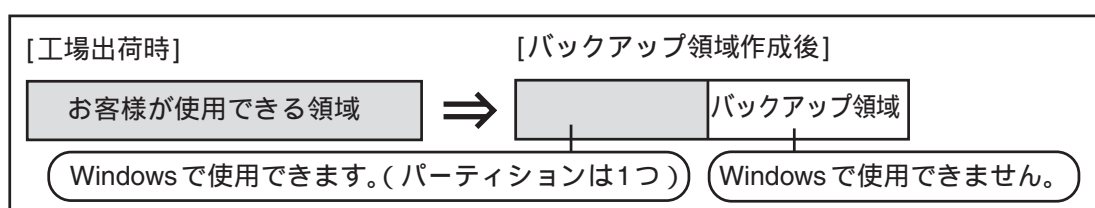
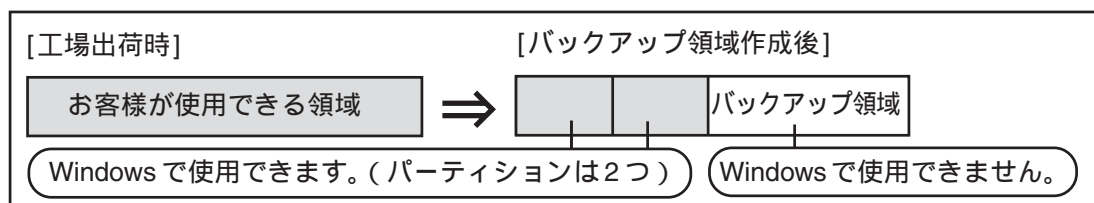
④【F10】を押す。
確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、【Enter】を押してください。
セットアップユーティリティが終了し、コンピューターが再起動します。

⑤【3】 を押して「3.【バックアップ】」を選ぶ。

お願い

- パーティションを分割する場合
「1.【リカバリー】」を実行してパーティションを分割しないでください。パーティションを分割した後では、バックアップ機能を有効にすることができません。パーティションの分割は、手順⑦で行います。

⑥ 確認画面で【Y】を押す。

⑦ メニューから、ハードディスクの分割方法を選ぶ。
- バックアップ領域を作成し、パーティションは分割しない場合
「1」を選んでください。

- ●バックアップ領域を作成し、さらにOS用とデータ用の2つのパーティションに分割する場合
「2」を選び、OS用パーティションのサイズ（Gバイト単位）を数字で入力して、【Enter】を押してください。
  - 0（ゼロ）を入力すると、操作を中止することができます。
  - 設定できる最大のサイズから入力した数字を引いた値がデータ用パーティションのサイズになります。機種により、設定できる最大のサイズは異なります。

⑧ 確認のメッセージが表示されたら【Y】を押す。
バックアップ領域が作成されます。

⑨「バックアップ機能を有効にするためには再起動が必要です。」というメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリーDVD-ROMを取り出し、何かキーを押して、コンピューターを再起動する。
引き続きバックアップが始まります。

⑩「バックアップが終了しました。」というメッセージが表示されたら、【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押してコンピューターを再起動する。

⑪ Windowsにログオンした後、新しいデバイスがインストールされ、その設定を有効にするためにコンピューターを再起動する必要があることをお知らせせするメッセージが表示されますので、[はい]をクリックして再起動する。

お知らせ

- ● セットアップユーティリティの「起動」メニューが、CD/DVDドライブから起動する設定になっています。必要に応じて変更してください。
- ● バックアップ領域を作成すると、セットアップユーティリティの「終了」メニューに「ハードディスクバックアップ／リストア」が表示されます。次回、バックアップおよびリストアを実行するときは、このメニューを使用します。詳しくは「バックアップ／リストアする」（➔ 下記）をご覧ください。

バックアップ／リストアする

お願い

- ● バックアップを実行する前に、ディスクのエラーチェックを行ってください。（➔ 5ページ）
- ● 途中で電源を切ったり、【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押すなどして、バックアップ／リストアを中止しないでください。Windowsが起動しなくなったり、データが消失してバックアップ／リストアが実行できなくなったりするおそれがあります。

① コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に【F2】を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力して、【Enter】を押してください。

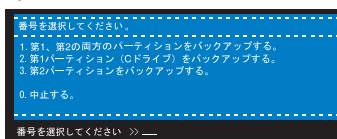
②【←】と【→】を使って「終了」メニューに移動し、【↑】と【↓】を使って一番下の「ハードディスク バックアップ／リストア」を選んで【Enter】を押す。

確認のメッセージが表示されたら、[はい] を選び、【Enter】を押す。

ハードディスクバックアップ機能

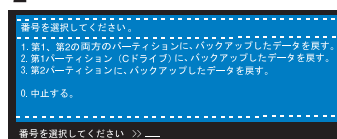
③ **メニューから、実行する操作を選ぶ。**

● **ハードディスクの内容をバックアップ領域にバックアップする場合**

*1

【1】を押して「1.【バックアップ】」を実行する。
（ハードディスクを2つのパーティションに分割している場合、続けて、画面（*1）が表示されます。バックアップの方法を選んでください。）

確認画面で【Y】を押す。
バックアップが始まります。

● **バックアップ領域に保存した内容をハードディスクに戻す場合**

*2

【2】を押して「2.【リストア】」を実行する。
（2つのパーティションでバックアップしている場合、続けて、画面（*2）が表示されます。リストアの方法を選んでください。）

確認画面で【Y】を押す。
リストアが始まります。

※ バックアップ（またはリストア）にかかる時間は、データ量によって異なります。

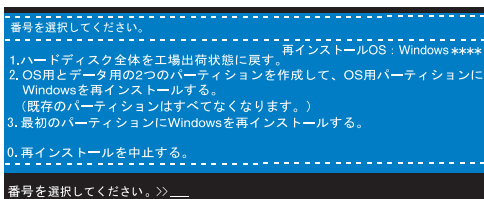
④ **「バックアップが終了しました。」または「リストアを終了しました。」というメッセージが表示されたら、【Ctrl】＋【Alt】＋【Del】を押してコンピューターを再起動する。**

- **バックアップ／リストアの途中で電源が切れた場合などは、再度実行してください。**
- **Windowsにログオンした後、新しいデバイスがインストールされ、その設定を有効にするためにコンピューターを再起動する必要があることをお知らせするメッセージが表示された場合は、[はい]をクリックして再起動してください。**

お願い

● **ハードディスクバックアップ機能を有効にしている状態では、お客様がアクセスできる領域内のすべてのデータを市販のデータ消去ユーティリティなどを使って消去しても、バックアップされたデータは消去されません。本機に搭載されているハードディスクデータ消去ユーティリティ（➔ 9ページおよび『取扱説明書』「本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する」）を使うと、バックアップされたデータを含むハードディスク内のデータを消去することができます。本機を破棄または譲渡する場合は、ハードディスクデータ消去ユーティリティをご使用ください。**

ハードディスクバックアップ機能を無効にするには

再インストールを行う必要があります。バックアップ領域およびハードディスク内のデータは消去されます。「再インストールする」（➔『取扱説明書』「再インストールする」）の手順3の②までを行い、再インストールを実行するための画面が表示された後、以下の画面が表示されますので、「1」または「2」を選んで再インストールしてください。

- **「1」を選ぶと、ハードディスクバックアップ機能を無効にすることができます。**
- **「2」を選ぶと、ハードディスクバックアップ機能を無効にすることはできますが、パーティションが分割されるため、再度ハードディスクバックアップ機能を有効にすることができません。**
- **「3」を選ぶと、ハードディスクバックアップ機能を無効にすることができません。**

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

コンピューターの廃棄・譲渡時におけるハードディスク内のデータ消去について

最近、コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中にあるハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのコンピューターを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。

ところが、このハードディスク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
- 「削除」操作を行う
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- 再インストールをして、工場出荷状態に戻す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがいまして、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このコンピューターのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

お客様がコンピューターを廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク内の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録されたすべてのデータを、お客様の責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（ともに有償）を利用するか、ハードディスク内のデータを金槌や強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

データ消去のための専用ソフトウェア・サービスについて：
本機には、ハードディスク内のデータを消去するハードディスクデータ消去ユーティリティが搭載されています。ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。
ハードディスクデータ消去ユーティリティについて詳しくは、『取扱説明書』の「本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する」をご覧ください。

その他、データの消去に関しては、下記の情報窓口をご利用ください。
＊パナソニックPCのホームページ（http://panasonic.biz/pc/recycle/）
＊パナソニックパソコンお客様ご相談センター（フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック））
＊リース、レンタル会社への返却については、リース、レンタル会社の問い合わせ窓口

また、ハードディスク内にお客様がインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

ハードディスクデータ消去について、詳しくは『取扱説明書』「本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する」をご覧ください。
ここでは、ハードディスクバックアップ機能を有効にしている場合の確認事項や操作について説明しています。

データ消去の前に

- お客様がアクセスできる領域内のすべてのデータと、ハードディスクバックアップ機能を有効にしている状態のバックアップデータが消去されます。

データをすべて消去する

- ハードディスクデータ消去の実行中に、ハードディスクバックアップ機能が無効になり、バックアップデータは消去されますというメッセージが表示された場合、【Y】を押してください。
続いて再起動を促すメッセージが表示された場合、【R】を押して再起動してください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は､｢サポートデスク｣へ!
- その他のお問い合わせは､｢お客様ご相談センター｣へ!

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みの後、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間
［消耗品（バッテリーパック）を除く］

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品を、製造打ち切り後６年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり､海外の規格などには準拠しておりません｡海外での使用について､当社では一切責任を負いかねます。

また､当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売り品の供給は行っておりません。

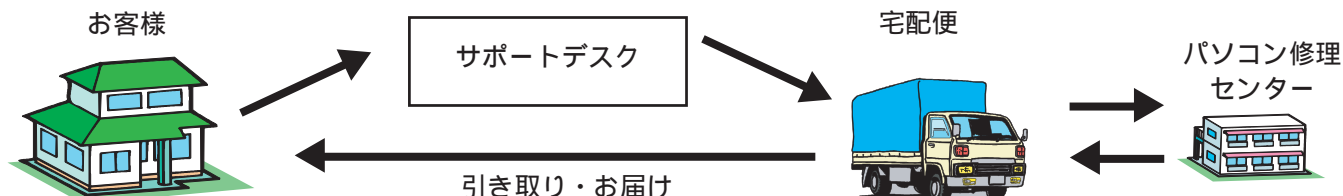
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

修理を依頼されるとき

『困ったときのQ&A』および『操作マニュアル』「困ったときは」に従ってご確認の後、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、サポートデスクへご連絡ください。

本製品は引き取り修理サービスを実施しております。

引き取り修理サービスとは

修理時に、当社指定の宅配業者が専用梱包箱を持ってパソコン修理品の引き取りにお伺いし、修理が完了した後、直ちに宅配業者がお届けする、早くて便利な修理サービスです。

● **保証期間中は**

保証書の規定に従って修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品と保証書をご準備いただき、サポートデスクにご相談ください。また､引き取り修理の送料は当社が負担させていただきます。

また、出張修理（オンサイト）サービスもご希望により有料で対応可能です。

● **保証期間を過ぎているときは**

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。また､引き取り修理の送料はお客様のご負担となります。

● **修理料金の仕組み**

修理料金は、技術料・部品代・送料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は､修理に使用した部品および補助材料代です。
- 送料 は､お客様のご依頼により修理品を引き取り、またはお届けする場合の費用です。
- 出張料 は、お客様のご希望により出張修理を行った場合の、出張に要する費用です。

「よくある質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://askpc.panasonic.co.jp/index.html

修理に関するご相談

サポートデスク

電　話 フリーダイヤル 0120-05-8729

受付時間　9時〜17時30分
年末年始（12/30〜1/4）を除く

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

電　話 フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック）

ＦＡＸ　（06）6905-5079

365日／受付9時〜20時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

（日本国内からのお問い合わせのみ）2006年1月1日現在

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

仕様 日本国内専用

本機の仕様は以下をご覧ください。

● 本体仕様

機種名	CF-W4JW8AXS	CF-Y4JW8AXS
導入済みソフトウェア *1	Microsoft® Internet Explorer 6 Service Pack 2/Adobe Reader/DMIビューアー/Microsoft® Windows® Media Player 10/DirectX 9.0c/Microsoft® Windows® Movie Maker 2.1/Microsoft® .NET Framework 1.1/ネットセレクター/SDユーティリティ/ホイールパッドユーティリティ/オプティカルディスクドライブ文字変更ユーティリティ/オプティカルディスクドライブ省電力ユーティリティ/省電力設定ユーティリティ/フォントサイズ拡大ユーティリティ/無線LAN切り替えユーティリティ/Hotkey設定/エコノミーモード(ECO)切り替えユーティリティ/バッテリー残量表示補正ユーティリティ/PC情報ビューアー/B's Recorder GOLD8 BASIC/B's CLiP 6*2/B's DVD Expert（オーサリングソフト）*3/WinDVD™ 5（OEM版）CPRM対応*4/DVD-MovieAlbumSE 4*5/Wireless Manager mobile edition 2.0*6/Infineon TPM Professional Package V1.7 SP4*7/PC-Diagnosticユーティリティ*8	
	セットアップユーティリティ/ハードディスクデータ消去ユーティリティ*9/ハードディスクバックアップユーティリティ*9	
	下記のソフトウェアをお使いになる場合は、セットアップが必要です。 ・ズームビューアー：C:\util\loupe\setup.exeをダブルクリックして画面の指示に従ってください。 ・NumLockお知らせ：C:\util\numlkntf\setup.exeをダブルクリックして画面の指示に従ってください。 テンキーモードに設定されていても、上記ソフトウェアをセットアップしていなければ「NumLockお知らせ」画面は表示されません。	
上記以外	CF-W4JW8AXRと同じ （➔『取扱説明書』「仕様」）	CF-Y4JW8AXRと同じ （➔『取扱説明書』「仕様」）

*1 本機はインストール済みOS以外では動作保証しておりません。
*2 プリインストールされているB's CLiPはCD-R、DVD-R、+R、+R DL、DVD-RAMをサポートしていません。
*3 ビデオキャプチャー機能を使用するには、別途ビデオキャプチャーカードが必要です。（本機には、キャプチャー機能がありません）
*4 CPRMで録画されたメディア（DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW）を再生する場合は、WinDVDにCPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムを組み込んでください。（➔ 画面で見る『操作マニュアル』「DVD-Videoを見る（WinDVD）」）DVD-Audioの再生には対応していません。
*5 VRモードで DVD-RAMに録画された映像を編集するためのアプリケーションソフトです。ビデオキャプチャー機能およびDolby Digitalのエンコード機能は入っておりません。CPRMで録画されたディスクの再生、編集はできません。
*6 ワイヤレス投写用アプリケーションソフト（パナソニック液晶プロジェクター TH-LB10NT／ TH-LB20NT／ TH-LB30NTとワイヤレス接続するときに使います。）（➔ 画面で見る『操作マニュアル』「無線 LANで通信する」）
*7 お使いになるにはインストールが必要です。 （➔ 画面で見る『セキュリティガイド』）
*8 起動方法は付属の『困ったときのQ&A』をご覧ください。（この機能は（株）ウルトラエックスの技術を使用しています。）
*9 プロダクトリカバリー DVD-ROMが必要です。

本機のセットアップユーティリティには、以下の機能が追加されています。
- 累積使用時間の表示：「情報」メニューに10時間単位で表示されます。
- ハードディスクバックアップ／リストア：バックアップ領域を作成したときのみ表示されます。（➔5ページ）

DFQM5625ZA HS0106-0